

事業者さまの食品ロス削減に向けた取組みへの支援について

株式会社秋田銀行（頭取 新谷 明弘）のグループ会社 詩の国秋田株式会社（代表取締役社長 伊藤 晋宏）は、株式会社稲庭うどん小川（代表取締役社長 小川 博和）と、主に高齢者福祉事業を展開するきららグループで給食事業を担う株式会社きららライフクリエーション（代表取締役 小野 繕永）を仲介し、稲庭うどん小川が製造工程で発生する「うどんの切れ端」の寄贈を実現しました。このたび、株式会社きららライフクリエーションによる感謝状の贈呈式が行われましたのでお知らせいたします。

「うどんの切れ端」の廃棄ロスに課題を抱えていた稲庭うどん小川の思いと、高齢者への安心・安全な食事提供を行うきららグループの食材ニーズが合致したもので、今回「うどんの切れ端」50kgが寄贈され、きららグループが運営する福祉施設で提供される昼食メニューで使用されます。

秋田銀行グループは、引き続き地元企業と連携し、食や工芸を通じた地域の活性化に取り組んでまいります。

記

【贈呈式の模様】



「うどんの切れ端」を使用したメニュー

(以上)



SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年に国連で採択された持続可能な開発目標であり、2030年までに解決すべき世界的優先課題 17 目標と目標を達成するための 169 のターゲットが示されています。